山陽小野田市 LABV プロジェクト新築工事

設計監理
大旗連合建築設計
https://oohata-arch.co.jp/

▲外観夕景

【設計のねらい】
「軒下空間がつくる まちの縁側」

官民連携によるまちづくりを志向した国内では前例のない LABV 手法を用いた連鎖的事業の第一弾である。

敷地は地域の主要な幹線道路である「公園通り」と、旧来からの商店街がある「セメント通り」の間に位置する。この２本の「通り」をつなぐように不整形な敷地に対して十字型の建物配置としている。

役割の違う機能同士が半屋外空間を介して適度に離れながらも緩やかにつながるゾーニングとすることで、無意識に歩いて奥まで行ってみたくなるような「開かれた通り道」を意識した建築としている。

弾力的な活動の受け皿となる芝生広場を中心に、施設内外の各所に中間領域となる軒下空間を設け、人々が自由に集える居場所を設えた。

軒下空間を形成する素地の金属板は、天候や見る角度、時間によって刻々と表情を変え、帯のように連なることで、ひとつの施設としての一体感を生み出す役割を果たし、セットバックしながら連なるボリュームは、地域に対して開かれた新たなアイキャッチとなる。

この建物が「産官学金」をつなぎ、地域へとにぎわいが伝播していくことを願っている。

【建築概要】

建 築 主	山陽小野田 LABV プロジェクト合同会社 （合人社計画研究所＋山陽小野田市＋山口銀行＋小野田商工会議所＋大旗連合建築設計＋前田建設工業＋長沢建設＋富士商グループホールディングス＋エヌエステクノ）
設計監理	大旗連合建築設計㈱
施 工 者	前田建設工業・長沢建設共同企業体
工事場所	山口県山陽小野田市中央２丁目６１60番12、14、16
主要用途	複合施設（事務所、集会場、銀行の支店、共同住宅、店舗）
構　　造	RC造5F建＋鉄骨造2F建
敷地面積	5,486㎡
建築面積	1,858㎡
延べ面積	4,966㎡
工　　期	2023年1月～2024年3月

▲広場面全景

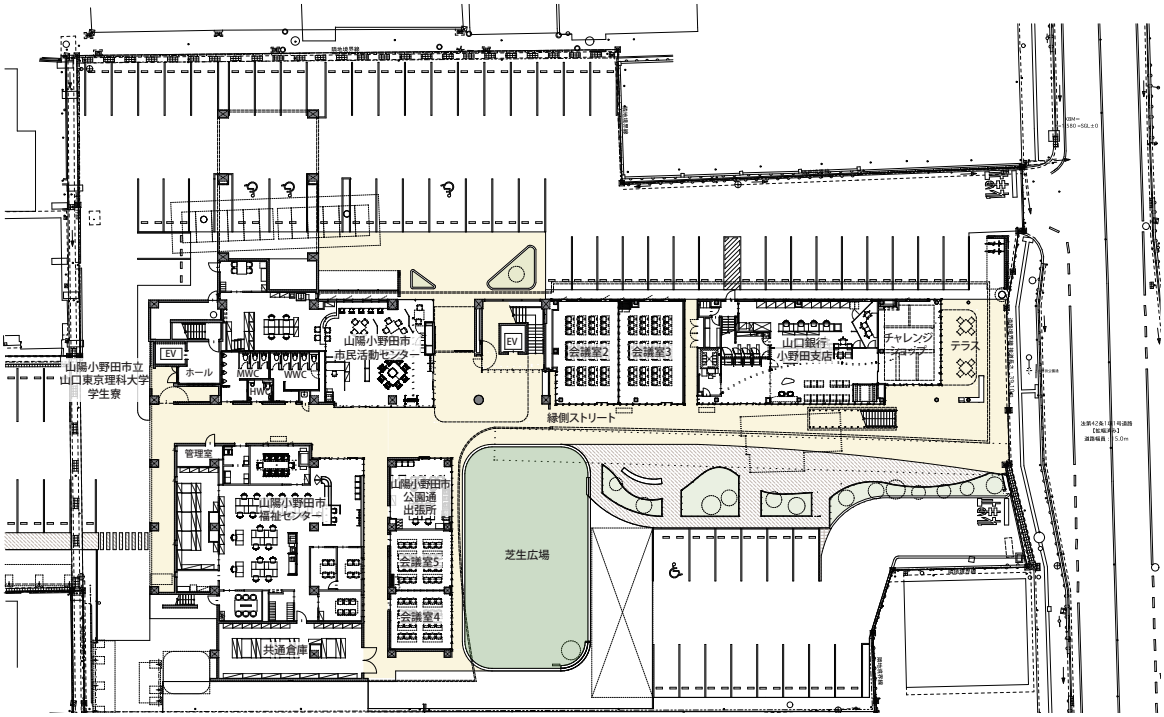
▲中央吹抜

▲芝生広場

▲道路面外観

▲広場面外観

▲俯瞰全景



▲1階平面図